

バリアフリー対応の改修やサービス提供の充実等に、 先駆的・継続的に取り組むシティホテル

計画概要

1971年に東京・新宿に開業したシティホテルである。
1988年にユニバーサルルーム15室(現在は一般客室として使用)が改修により設置され、2018年にはユニバーサルルーム10室(2002年設置)の全面改修、新たな3室の整備が行われた。誰もが快適に過ごすことができるよう、ユニバーサルルームには機能的な家具・システム環境、利用者のニーズに応じて取り付け可能な手すりやアラートシステム等が設けられている。またホームページでは、車椅子使用者による客室の利用状況の動画・間取り図・貸し出し備品リスト等による事前の情報提供が行われている。

※1 京王建設株式会社提供 資料に一部加筆等

所在地	東京都新宿区西新宿2丁目2-1
建築主	京王電鉄株式会社
設計者	本館:株式会社日本設計、南館:株式会社日建設計 2018年改修設計:(基本設計)株式会社日本設計(実施設計)京王建設株式会社
構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	本館:地下3階、地上47階 南館:地下3階、地上35階
竣工年	本館:1971年、南館:1980年 (改修年:1988年、2002年、2018年)
建築面積	4,604.49㎡
延床面積	本館:116,924.80㎡、 南館:58,117.76㎡(計:175,042.56㎡)
客室数	1435室(うちユニバーサルルーム[改修]:13室)
付帯施設	レストラン、ラウンジ、宴会場、ギャラリー、ジム&プール等



■ 共用部



北側エントランス(2階)

2階の北側エントランスには、階段の横に傾斜路が設けられている。



補助犬専用トイレ

敷地内にある補助犬専用トイレ(人工芝の部分)には、シャワー設備、ごみ箱も設けられている。車椅子使用者にも使いやすいよう、一段高い場所にも補助犬トイレが設けられている。

■ 情報提供



バリアフリー対応についてのホームページでの紹介

ホテルのホームページでは、車椅子使用者、視覚・聴覚障害者、補助犬ユーザーへの配慮や、ユニバーサルルームの寸法や設備・備品が紹介されている。

また、車椅子使用者が、実際にユニバーサルルーム内やホテル内を移動・利用する様子や、新宿駅西口からホテルまでの経路等を動画で紹介されている。

※動画の画像はリニューアル前の客室



授乳室(約30㎡、3階)

乳幼児用おむつ交換台:2台、着替え台:1台、授乳用ソファ(個室):2室、プレイマット、電子レンジ(離乳食の温め専用)、調乳栓、ダストボックスが設けられている。



2階レストランフロア

高齢者や車椅子使用者が利用しやすいよう、レストランの出入口は、段差がない、または傾斜路(写真上)や段差解消機(写真下右)を設けたものとなっている。

2階には、男女共用の多機能便房が設けられている。



コンコードボールルーム

(宴会場、本館5階)

事前に申し込むと聴覚障害者用集団補聴装置(磁気ループシステム)を使うことができる。床下に専用の配線が設けられている。可動壁により3つの宴会場に分割することもできる。



貸し出し用の磁気ループ用受信器(補聴器)



集団補聴装置の調整等を行う音響室

■ 案内表示、情報伝達設備、貸し出し備品（一部の貸し出し備品は、一般客室でも利用可能）



浮き彫りの室名表示

客室ドアに設けられた浮き彫りの室名表示は、視覚障害者が触っても痛くないよう素材とデザインを工夫している。また、数字が判別しやすいよう、ベースプレート色の組み合わせも工夫している。[視覚障害者等対応]



シャンプー等の容器

視覚障害者が、手で触れて区別できるように、容器に輪ゴムをつけている。(シャンプー:2本、コンディショナー:1本、ボディーソープ:なし) [視覚障害者等対応]



客室内のテレビ

客室内のテレビにおける一般放送、防災案内、ホテルサービス案内等は、日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語に対応している。



補助犬セット(ボウル・マット)

餌や水を入れるボウルは、大型犬のほか、小型の聴導犬にも対応できるよう、2種類の高さを用意している。



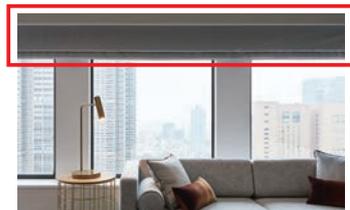
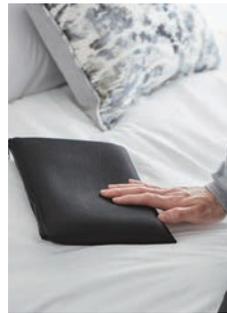
タブレット

タブレットには、コミュニケーション支援アプリが入っており、フロントと連絡することが可能となっている。[聴覚障害者等対応]

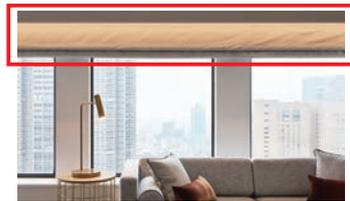


アラートシステムセット

来客、電話、タブレット等のデバイス、火災・緊急の際に、モニター表示や、クッションの振動、屋内灯(室内窓の上部、浴室)の点滅によってお知らせする。収納庫(スタッフ用)にあるスイッチで、アラートシステムモードの切替えが可能となっている。[聴覚障害者等対応]



通常時
(消灯)

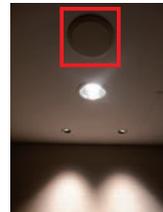


情報
伝達時
(点滅)



着脱式傾斜路(一部の一般客室)

一部の一般客室の水廻り室出入口においては、着脱式の傾斜路を設けることにより、高低差(約6.5cm)の解消が可能である。

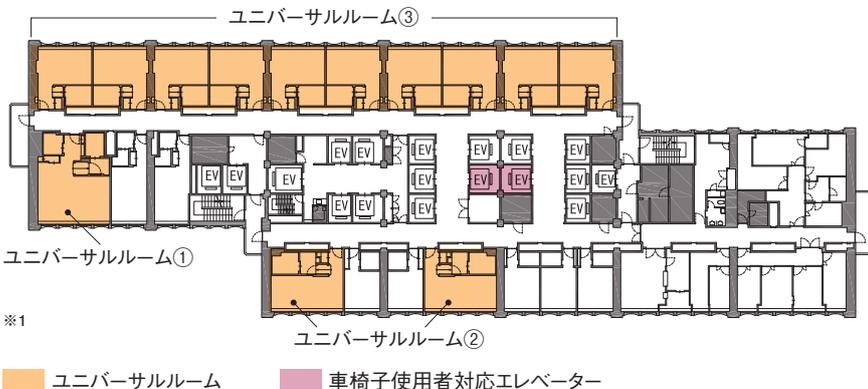


音声標識ガイドシステム、スピーカー

エレベーターホール天井に内蔵された専用スピーカーが、手持ちの小型送受信機に反応して、スピーカーから音声案内(日本語又は英語)が流れる。[視覚障害者等対応]

3-2
改修等

■ 本館30階(客室フロア)



- 本館30階に、ユニバーサルルームが13室が設けられている。同フロアには、テナントとして託児所、クリニックがある。
- 本フロアは、2018年に以下の改修を行っている。
 - ・ ①と②は、一般客室2室を1室に改修して、ユニバーサルルームを3室新設
 - ・ ③は、既存のユニバーサルルーム(2002年10室設置)のユニットバスや内装を改修
 - ・ 廊下、エレベーターホールの改修
- ユニバーサルルームの改修にあたって、3種類の部屋のモックアップ製作を行い、実証実験等に基づき改善を図りながら、確実な整備につなげている。

■ ユニバーサルルームの種類

No.	部屋タイプ	室数	客室面積
①	ジュニアスイート ツイン (ユニバーサルデザイン)	1	67.4㎡
②	ラグジュアリーデラックス ツイン (ユニバーサルデザイン)	2	47.0㎡
③	デラックス ツイン (ユニバーサルデザイン)	10	35.5㎡

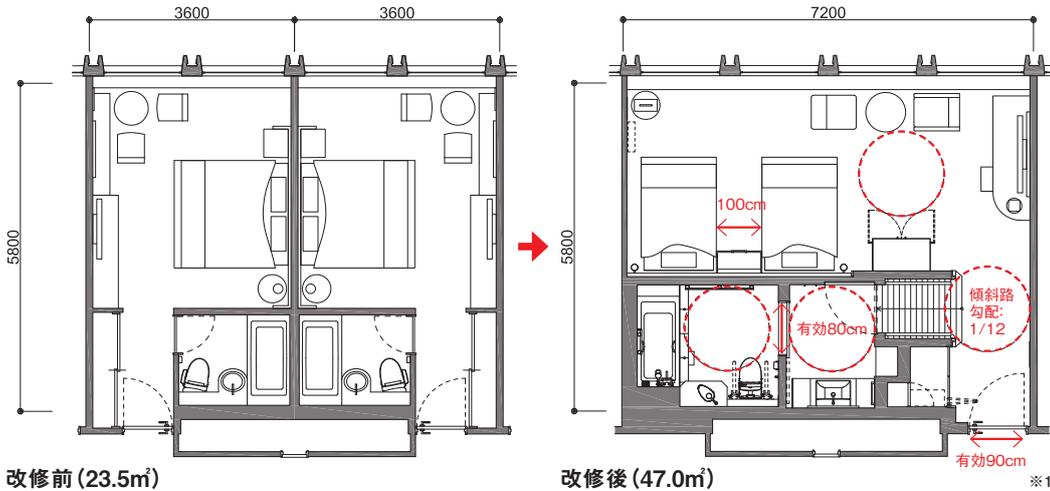


廊下

床面と壁面の境界を識別しやすいよう、色の組み合わせを工夫している。

- 誰もが利用しやすいよう、洗練されたデザインの内装、着脱式の備品等の準備されたユニバーサルルーム(13室)
- 車椅子使用者による利用状況の動画、間取り図、貸し出し備品リスト等による、事前の情報提供を実施

ラグジュアリーデラックス ツイン(ユニバーサルデザイン) (47.0㎡)



客室内部

改修前(23.5㎡)

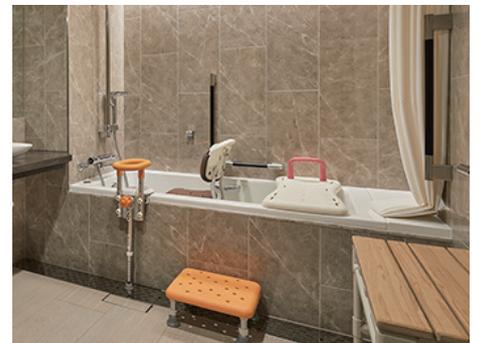
改修後(47.0㎡)



洗面脱衣室



水廻り室



※浴槽に貸し出し備品を設置

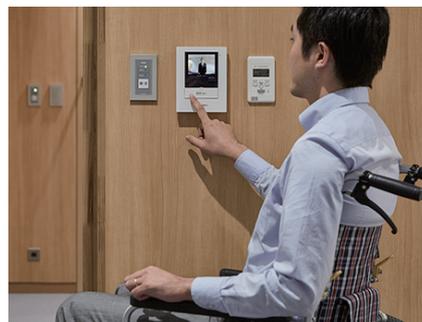
水廻り室出入口の前後に高低差はない。水廻り室には、浴槽等、洗面器、及び着脱式手すり等が設けられたトイレがある。

ユニバーサルルーム全室共通



客室出入口(廊下側)

ドアは最初の60度までゆっくり動き、その後は通常の速さで閉まる。インターホンの高さ:120cm、カードリーダー認識部の高さ:102cm、新聞受けの高さ:75cm



スイッチ、ドアモニター

床から110cmの高さに統一して、戸の施錠・解錠ボタン、ドアモニター、空調スイッチが設けられている。また、戸の施錠・解錠ボタン及びドアモニターは、車椅子使用者が戸の近くまで行くことなく、来客者の確認や戸の解錠をすることができる位置に設けられている。



ライティングデスク

天板下部には、車椅子使用者の膝が入るスペースが確保されている。天板端部は、掴みやすいよう、形状が工夫されている。



コントロールパネル

ベッド脇に設けられたコントロールパネルでは、照明と電動カーテンの操作が可能となっている。スイッチには、反転色を用いた文字と絵記号が併記されている。



クローゼット

クローゼットには、高さの二段階調節(170cm、120cm)が可能なハンガーバーが設けられている。クローゼットの中には、速やかな対応を図るため、貸し出し備品を保管する収納庫(スタッフ用)が設けられている。



ミニバーキャビネット

ミニバーキャビネットの足元は、車椅子利用者や高齢者の利用にも配慮して、出し入れしやすい高さとなっている。(足の長さ約40cm)



取り付け前

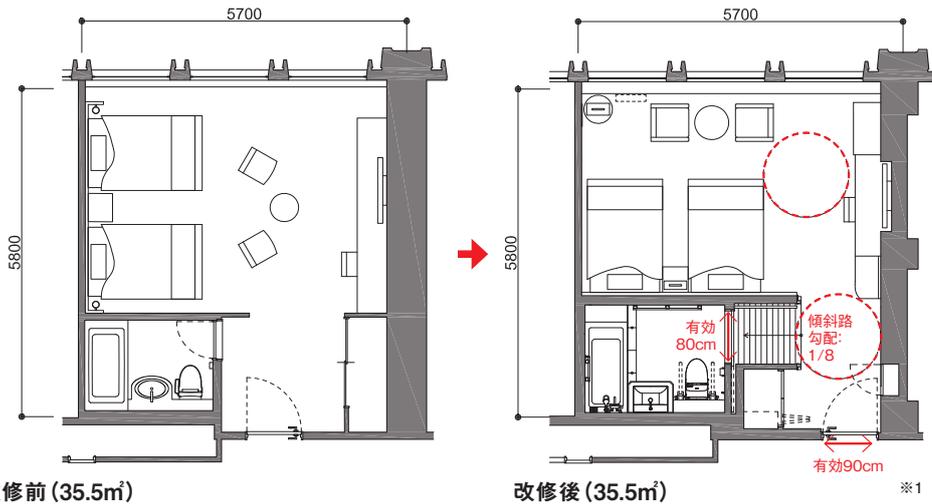


取り付け後(背もたれを設置)

トイレ

トイレには、高さや幅が変えられる着脱式の手すり、背もたれ、背もたれクッション(貸し出し備品)が設けられている。

■ デラックス ツイン (ユニバーサルデザイン) (35.5㎡)



改修前 (35.5㎡)

改修後 (35.5㎡)

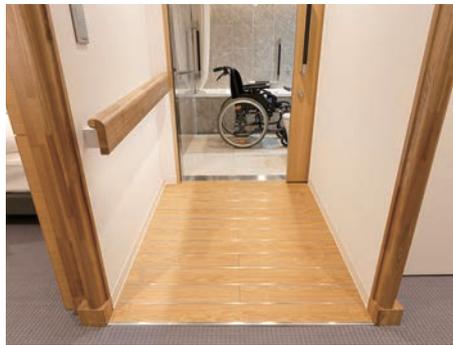


客室内部



水廻り室

洗面台下には、車椅子利用者も利用しやすいよう、低い位置にもフタ付きコンセントが設けられている。



水廻り室出入口の傾斜路

水廻り室出入口には、改修により、常設の傾斜路が設けられている。(勾配1/8、高さ12cm。改修前は着脱式スロープを設けて段差を解消。)



コンセント

電動車椅子のバッテリー充電のため、床から40cmの高さに設けられている。

■ ジュニアスイート ツイン (ユニバーサルデザイン) (67.4㎡)



洗面脱衣室出入口の傾斜路

水廻り室の床を上げるために、傾斜路が設けられている。(勾配1/12、高さ12cm) 手すりは両側に設けられている。



客室内部

ベッド側面には、車椅子使用者が進入し、ベッドに移乗できるようにスペースが設けられている。(ベッド高さ:48cm) 客室内には、電動カーテンが設けられている。(ユニバーサルルーム全室共通)



客室出入口(室内側)

客室出入口は開き戸となっており、棒状の取っ手及び、戸の取っ手側の接近スペース(51cm)が設けられている。



浴室及び洗面脱衣室
洗面器の下部には、車椅子使用者の膝が入るスペース(高さ:63cm)が確保されている。



浴室

浴室には洗い場がある。(シャワー用車椅子(自走式)の貸し出しが行われている。)



洗面器及びトイレ

洗面器下の壁排水は、シンプルなデザインのボルトトラップ方式となっており、車椅子使用者の膝が入るスペース(高さ:68cm)が確保されている。

後楽ガーデンホテル(後楽賓館)

各階の一般客室・共用空間の修繕・改修とあわせて、
バリアフリールームの増加を行うホテル

計画概要

東京ドームに近い、日中友好会館の本館に1988年に開業したホテルである。

補助金等を活用したバリアフリールーム(車椅子使用者客室)の改修整備が、各階の一般客室の修繕・改修と同時に少しずつ進められている。またロビー階・エレベーター等のバリアフリー対応改修も行われている。

バリアフリールーム(車椅子使用者用客室)への改修では、必要なスペースを確保するため、既存の一般客室2室(または3室)の1室化が行われている。また浴室等への出入口前後の高低差を解消するため、浴室等の手前の通路には傾斜路が設けられている。

所在地	東京都文京区後楽1丁目5-3
建築主	公益財団法人 日中友好会館
設計者	当初設計:株式会社日建設計、株式会社三菱地所 改修設計:Beach side Studio 株式会社一級建築士事務所
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	地下4階、地上12階、塔屋2階
竣工年	1988年(改修年:2012年、2014年、2016年)
建築面積	2,224.24㎡
延床面積	30,900.60㎡
客室数	150室(うち車椅子使用者用客室[改修]:5室)
付帯施設	事務所、飲食店、ホール、会議室、美術館

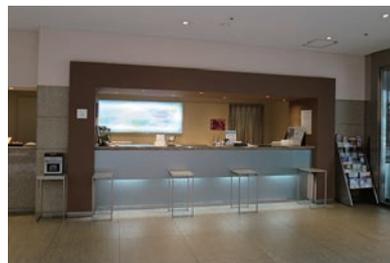


■ 共用部



エントランス前の通路

ホテルのフロントには、1階の専用エントランスからアクセスする。歩道から段差なくアクセスすることができる。

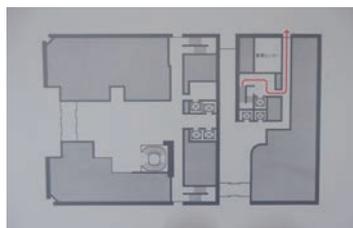


フロント、ロビー



エレベーター出入口(乗場)

2台のうち1台が車椅子使用者対応となっている。



避難経路図



乗降ロビー内の 車椅子使用者用 一時待避スペース



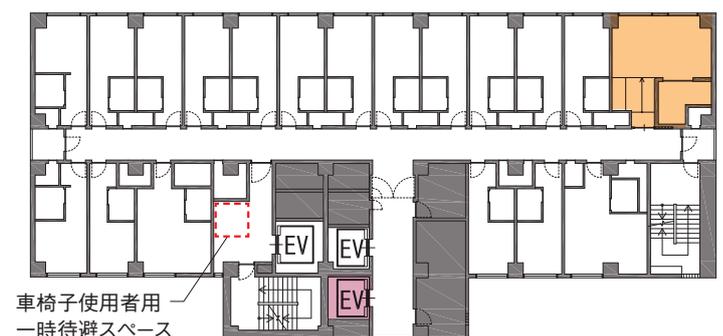
エレベーターのサイン

車椅子使用者対応のエレベーターには、赤に白の縁取りがなされた国際シンボルマークが設けられている。



非常用エレベーター前の乗降ロビー

■ 6階平面図(客室フロア)



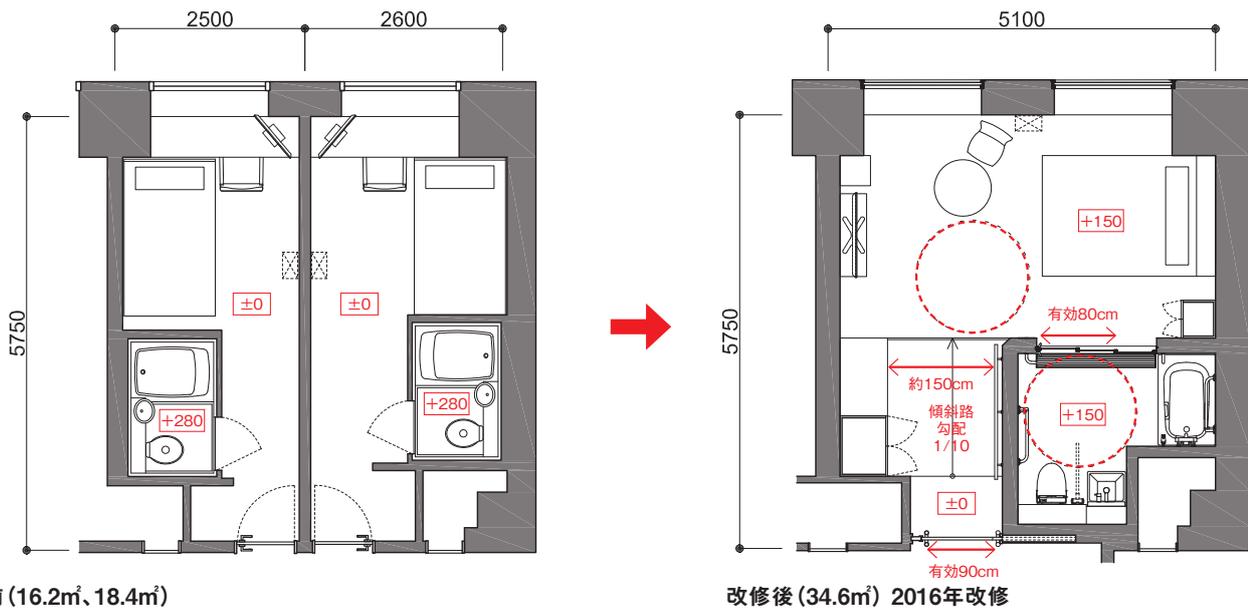
車椅子使用者用
一時待避スペース

ユニバーサルルーム③
(車椅子使用者用客室)

車椅子使用者対応エレベーター

● 複数の既存一般客室を1室化改修したバリアフリールーム(車椅子使用者客室、5室)

■ ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室 34.6㎡)



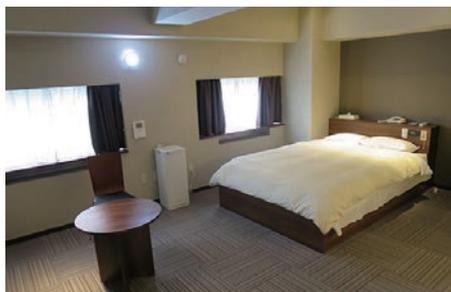
改修前(16.2㎡、18.4㎡)

改修後(34.6㎡) 2016年改修



客室内部

客室に入るとすぐに、傾斜路(勾配:1/10、高さ:15cm)及び片側手すり(高さ:80cm)が設けられている。



フラッシュライト(左)及び警報器補助装置(右)

来客(インターホンが押された時)や火災があった際に、光で知らせるようにフラッシュライトが設けられている。火災を感じた警報器から、警報器補助装置が無線連動信号を受信すると、火災警報音が繰り返し鳴り、フラッシュライトが点滅するとともに、警報表示部のLEDフラッシュが点滅する。[聴覚障害者等対応]

トイレ

可動式手すり、L型手すり、呼出しボタンが設けられている

浴室

シャワーヘッドの高さが調整できるよう、シャワーバーが設けられている。また、貸し出しの移乗台が設置されている。

ベッド廻りのスイッチ等

ベッドにいても操作ができるよう、ベッド廻りには照明スイッチ、ヘッドスタンド照明、呼び出しボタンが設置されている。



スイッチ等

扉の開錠ボタン等は、床上90cmの位置に統一して設置されている。戸先のサムターン錠とは逆側に、プッシュボタン方式のドア解錠ボタン(写真右)が、設けられている。



避難経路図(英語・中国語併記)

サムターン錠

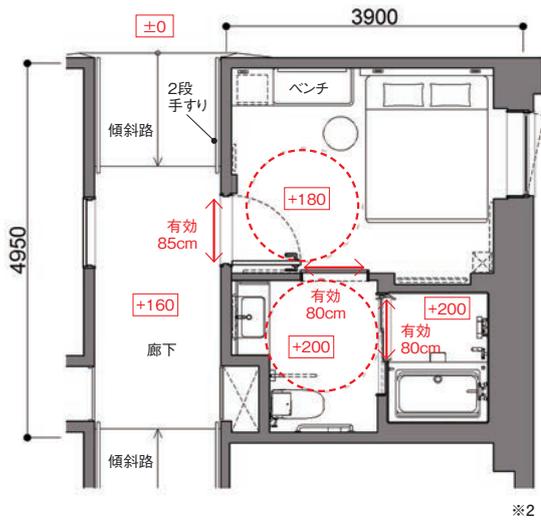


客室内ドアモニター

来客等を確認できるよう、客室内にドアモニターが設置されている。(高さ:90cm)

● **スタンダードダブル(車椅子使用者用客室) 前の廊下に傾斜路を設け、段差のない客室空間を実現**

■ **スタンダードダブル(車椅子使用者用客室 18.28㎡)**



客室出入口まわり (室内側)
(上から) 避難経路図、空調機操作盤、カードキー差込口(床から110cm程度)、照明スイッチ



客室内部



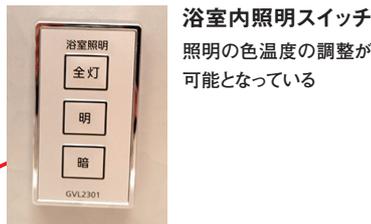
水廻り室出入口
水廻り室出入口は片引き戸となっており、建具下枠の形状をすりつけ状にし、2cm程度の段差を解消している。



浴室出入口
浴室出入口は、2枚の片引き戸となっており、出入口の前後に高低差はない。



トイレ
L型手すり及び可動式手すりが設けられている。



浴室
洗い場のある浴室には、他の客室と同じ風呂イス(木製)が置かれている。シャワーのあるハンドシャワーは、高さ調整が可能である。浴槽の底には、滑り止め用のエンボス加工がされている。浴槽出入りのための手すりが設けられている。

浴室内照明スイッチ
照明の色温度の調整が可能となっている

■ **情報伝達設備等**



テレビリモコンの字幕ボタン(全室共通)

継続的かつ計画的にバリアフリー・ユニバーサルデザイン対応を目指すリゾートホテル

計画概要

1932年に山梨県に開業したリゾートホテルである。全国のホテル・旅館業界に先駆け、1983年から障害者の雇用に積極的な取り組みが行われており、現在、従業員112名の内、3名が何らかの障害を持つスタッフである。そのような組織土壌の中、高齢化社会、及び障害者と障害のない人が共生する社会へ向けて、ハードとしてのバリアフリー・ユニバーサルデザイン対応が1999年から継続的に行われている。また、高齢者や肢体不自由者等の利用に配慮した備品の貸し出し、ホームページでの客室に関する詳細な事前の情報提供等が行われている。

所在地	山梨県南都留郡富士河口湖町船津1番地
建築主	株式会社 富士レークホテル
設計者	トライボット・デザイン、石井建築事務所
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地下1階、地上6階
竣工年	西館：1971年 東館：1984年（改修年：1999年、2001年、2002年、2006年、2008年、2010年等）
建築面積	3,237.54㎡
延床面積	10,489.18㎡
客室数	74室（うち車椅子使用者用客室【改修】：23室）
付帯施設	レストラン、ラウンジ、宴会場、プール、会議室等



■ 施設構成

	東館	西館
7階	レストラン	客室 14室
6階	バリアフリールーム 2室 露天風呂付客室（UD化） 1室 その他客室 6室	客室 8室
	バリアフリールーム 1室 露天風呂付客室（UD化） 9室	客室 1室 リニューアル和洋室（UD化） 7室
4階	バリアフリールーム 1室 露天風呂付客室（UD化） 9室	客室 8室
3階	宴会場等	客室 1室 リニューアル和洋室（UD化） 6室
2階（ロビー階）	フロント、屋外プール、宴会場等	レークビュー貸切風呂（バリアフリー）
1階	ダイニングフロア、大浴場等	

■ 2006年 バリアフリー・ユニバーサルデザイン客室への改修、1階ダイニングの改修

- バリアフリー・ユニバーサルデザイン客室への改修と同時に、ダイニング（総面積1000㎡）も改修し、食事の提供場所におけるユニバーサルデザイン対応（バリアフリー対応）の取り組みが行われた。
- 宴会場、バーやカラオケルームを含む1階フロア全体のユニバーサルデザイン対応（バリアフリー対応）を行うため、スロープ設置による段差解消が行われたほか、オストメイト対応の便所が設けられた。

■ 食事提供等のユニバーサルデザイン対応の工夫

- ハード面の改修と同時に、刻み食、ペスト対応、アレルギー対応など食事提供のユニバーサルデザイン対応の取り組みも行われている。

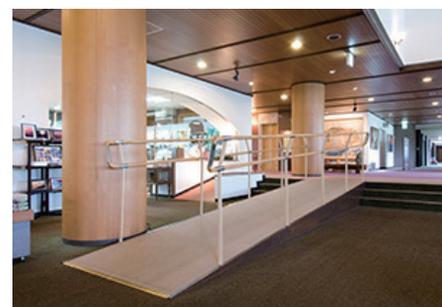
■ 2008年 玄関前の手すり増設、河口湖眺望露天風呂つき客室（バリアフリー・ユニバーサルデザイン客室）への改修



玄関前の手すり付きスロープ



露天風呂つき客室 和（なごみ）



館内のスロープ



ダイニング（はまなし）

■ 2010年 バリアフリー・ユニバーサルデザイン客室への改修、貸し切り風呂・共用トイレのユニバーサル対応（バリアフリー対応）



介助用リフトを整備したレークビュー貸し切り風呂

- 既存の一般客室2室を1室化改修したバリアフリー・ユニバーサルデザインの客室 (23室)
- 間取り図・写真への寸法記入、貸し出し備品リスト等による、事前の情報提供を実施

■ スタンダードルーム (バリアフリー・ユニバーサルデザイン) 42㎡

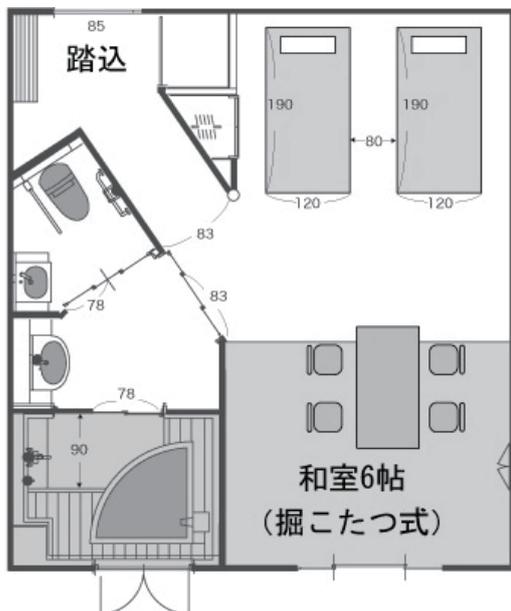


客室内部

室内には、掘こたつ式の和室とレークビューの浴室が設けられている。

■ ホームページ等における事前の情報提供

ホテルのホームページでは、バリアフリー・ユニバーサルデザイン客室の間取り図及び各部分の有効幅員等が写真入りで詳しく掲載されているほか、高齢者や肢体不自由者対応、及び乳幼児連れの利用者対応のための貸し出し備品、共用部分のバリアフリー化対応、食事(きざみ食等)の対応等についての情報が掲載されている。



スタンダードルームの間取り図とバリアフリー対応の詳細



富士レークホテル Barrier Free

富士眺望露天風呂付スタンダードルーム バリアフリー詳細

※掘りこたつ式

※リクライニングベッドではございません

※車イスでお入りいただけます

※車イスでお入りいただけます。
※客室により、浴槽の形や材質、形状が異なります

※聴力や視力のよい方へ、フラッシュライトで呼び出しをお知らせします。
※611号室にはございません

512・513号室は陶器風呂となります

富士レークホテル 〒401-0301 静岡県静岡市駿河区東1丁目1番地
TEL 0556-79-2200 FAX 0556-79-2700

1階の共用空間の改修等と、共用空間・客室における備品活用等を組み合わせた、明治44年創業の旅館のバリアフリー対応

計画概要

島根県・さぎの湯温泉に1911年に開業した旅館である。観光庁「宿泊施設バリアフリー化促進事業」の補助金を活用し、多機能便房・貸し切り浴室・テーブルタイプの個室食事処の整備による1階共用空間のバリアフリー対応が行われている。また旅館出入口の土間と玄関踏み込みの段差は、据え置きスロープの設置により解消することができる。多機能便房の近くには、据え置きスロープの設置による上がり框の前後の高低差解消やベッドの設置が可能な和室の客室が設けられている。築110年以上の古民家等を利用した別館では、2016年の移築にあわせて1階共用空間のバリアフリー対応が行われている。別館出入口の段差は、本館同様に据え置きスロープの設置により解消することができる。

所在地	島根県安来市古川町478-1
建築主	株式会社鷺の湯荘
設計者	株式会社柳建築設計事務所
構造	本館：鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造 別邸：木造、鉄骨造
階数	本館：3階 別邸：2階
竣工年	本館：1982年(改修年:2018年等) 別邸：2016年(移転・用途変更)
建築面積	本館：2,247.15㎡ 別邸：474.19㎡
延床面積	本館：3,071.30㎡ 別邸：560.25㎡
客室数	本館：18室 別邸：2室
付帯施設	宴会場、ラウンジ等



■ 本館 共用部(アプローチ、玄関)



玄関前の通路

玄関前には、道路から段差なくアクセスすることができる。



設置前



設置後

玄関の段差解消

玄関には2段(高さ:合計22cm)の段があるが、段差解消のために、据え置きスロープ(長さ:約90cm)を設置する対応が行われている。

■ 本館 貸し切り浴室(2か所、2006年改修)



脱衣室の出入口

片引き戸・傾斜路が設けられ、前後の高低差はない。また内部には、広めのトイレが設けられている。



貸し切り浴室の出入口

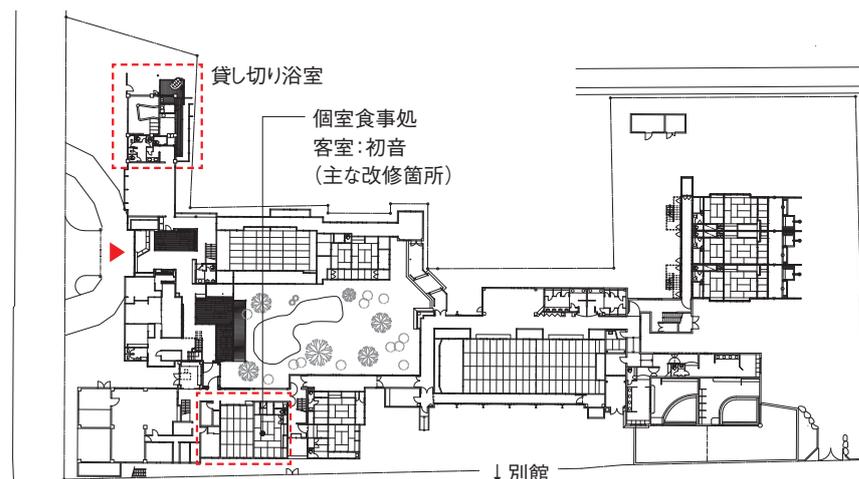
浴槽付近まで行くことができるよう、貸し切り浴室の出入口は有効幅員(120cm)が確保され、また前後に高低差はない。



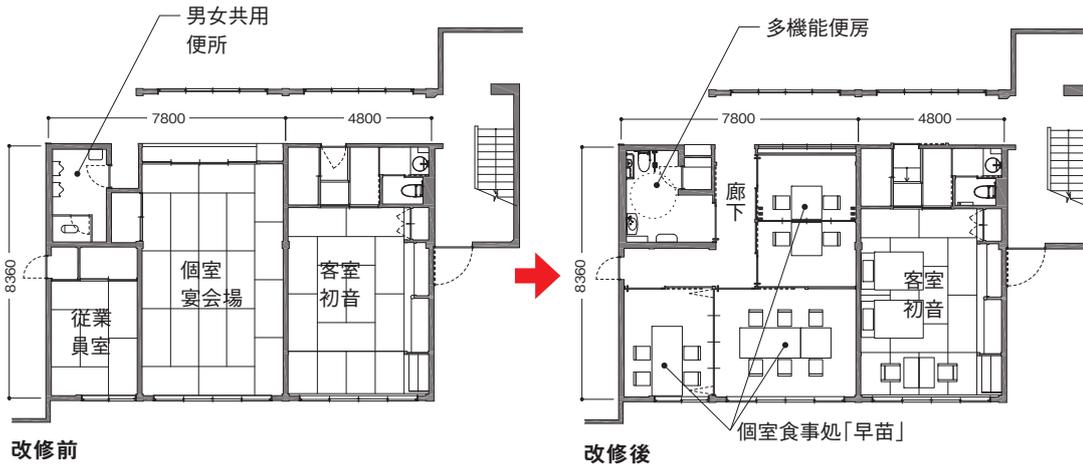
貸し出し備品

シャワー用車椅子(トイレ兼用型)が、貸切風呂の出入口付近に準備されている。(普段は目立たないように布をかけてある。)

■ 本館1階平面図



■ 本館 個室宴会場、客室等



テーブルタイプの個室食事処もともと和室の個室食事処と従業員室だったスペースは、テーブルタイプの個室食事処(3室)に改修されている(出入口有効幅員96cm、118cm)。テーブル・椅子は車椅子使用者が利用することに配慮された高さとなっている。また個室食事処の近くの、男女共用の便所だったスペースには、多機能便房(出入口有効幅員116cm)が設けられている。



個室食事処



個室食事処



廊下

■ 本館(なごみの郷) 客室 初音 (40㎡)



設置前



設置後



据置きスロープ収納



車椅子使用者等の利用に対応した据置きスロープとベッドの設置普段は和室(布団を敷く)仕様だが、高齢者や車椅子使用者が利用する際には、上がり框に据置きスロープ(長さ46cm、高さ9cm)、室内にベッドを設置する対応が行われている。事前に準備しやすいよう、据置きスロープやベッド(マットレス等)は、客室内の押入に収納されている。客室内のトイレや洗面台は車椅子使用者の利用に対応していないが、多機能便房(改修により設置)や車椅子使用者も利用可能な貸し切り浴室が、客室の近くに設けられている。

■ 本館(杜の館)客室 椿(54㎡) 1995年増築 2015年改修



移乗台付露天風呂



増築した客室

増築棟の1階の3室は、ベッドを使用するタイプとなっており、上がり框の段差解消のために据置きスロープを設けることができる。客室内のトイレや洗面台、露天風呂は、車椅子使用者の利用に対応していないが、1階には、多機能便房(改修により設置)や車椅子使用者も利用可能な貸し切り浴室が設けられている。

● 古民家・蔵の移築にあわせた別館1階のバリアフリー対応

■ 別邸 鷺泉



玄関正面



従前の古民家

古民家の移築

別邸 鷺泉は、島根県出雲市の築110年以上の明治時代の古民家が2016年に移築（建築確認上は新築）されたものである。母屋は個室食事処（レストラン）等、蔵（離れ）は、客室2室となっている。

■ 別邸 鷺泉



玄関の段差解消

玄関には2段（高さ：合計44cm）の段があるが、従業員が段差解消のために据置きスロープ（長さ：約190cm）を設置する対応が行われている。

また、段の横には、それぞれの高さが14cm程度になるように敷台が設けられている。



■ 別邸 鷺泉 車椅子使用者用駐車場



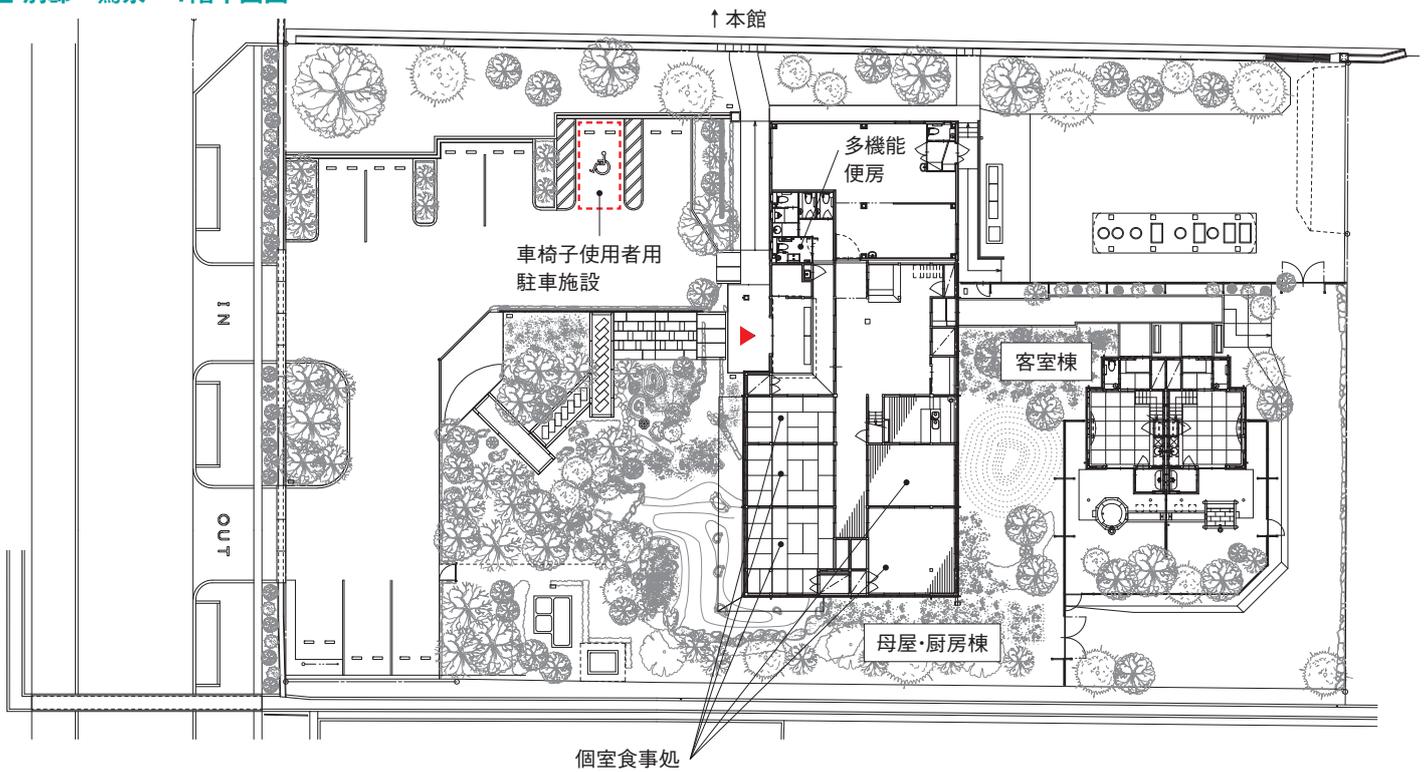
■ 別邸 鷺泉 多機能便房



多機能便房の出入口

内からも外からも押して開けることができる折れ戸が設けられている。

■ 別邸 鷺泉 1階平面図



■ 別邸 鷺泉



■ 別邸 鷺泉 客室棟



蔵を改修した客室棟には客室が2室設けられている。

3-2

改修等

■ 別邸 鷺泉 個室食事処



個室食事処出入口

和室(続き間)及びフローリング敷きのテーブルタイプの個室食事処の出入口前後の高差はない。

11 ホテル はつはな

高齢者、障害者等が、家族や友達とともに
温泉を楽しむことができるよう配慮された和風旅館

計画概要

神奈川県箱根町に1993年に開業した和風ホテルである。

一般客室からの改修により、客室で温泉を楽しむことができる2種類のユニバーサルスタイルの和洋室が改修により整備されている。また客室改修では、上がり框の前後の高低差を解消するため、傾斜路が設けられている。バリアフリー対応のためのホテル出入口やレストラン、大浴場・脱衣室等の改修が複数回にわたって行われているほか、大浴場や女性専用スパに行くためのスロープカーの設置が行われている。

所在地	神奈川県箱根町須雲川20-1
建築主	小田急バス株式会社
設計者	株式会社イズミ建築設計事務所 改修設計者:株式会社フジタ
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	地上3階地下3階
竣工年	1993年(改修年:2005年等)
建築面積	2,177.75㎡
延床面積	6,816.30㎡
客室数	47室(うち車椅子使用者用客室[改修]:2室)
付帯施設	レストラン、ラウンジ、ダイニング、カラオケルーム、宴会場(会議室)、大浴場・スパ(温泉棟)



■ 共用部



玄関

通路には、スロープが設けられている。



フロント

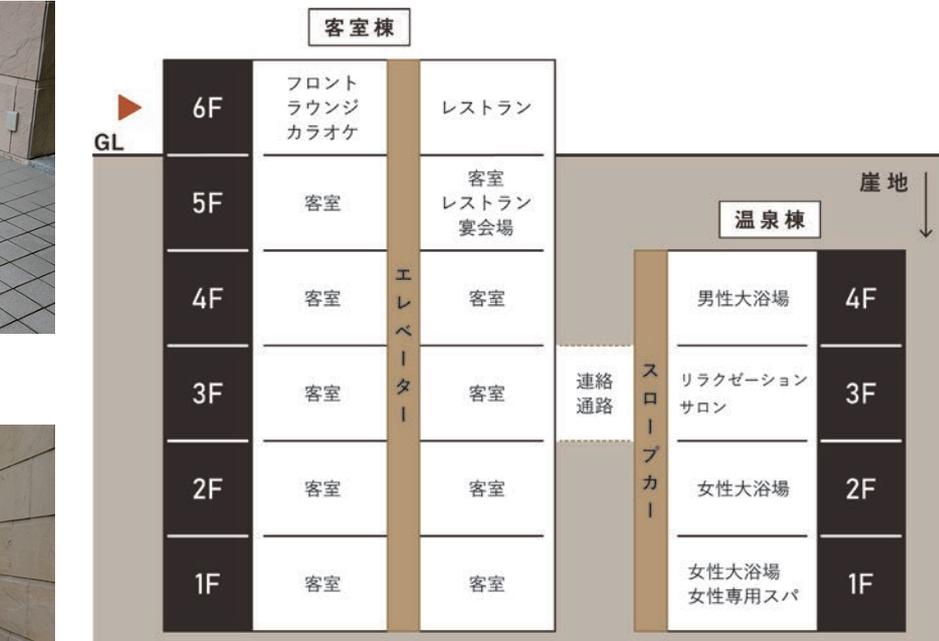
フロントにはローカウンター及び椅子が設けられている。

■ 共用部(レストランつつじの茶屋 6階)



エントランス

改修により、段差の解消等が行われている。



■ 施設概要

エントランスは最上階の6階にある。

6階にはフロント、レストラン、売店等が配置されており、1階から5階が客室階となっている。客室棟3階の連絡通路からは大浴場やスパのある温泉棟へアクセスすることができ、温泉棟では斜行エレベーター(スロープカー)で上下階の移動ができるようになっている。

車椅子使用者用客室は1階と2階に位置する。



レストラン内部



ホール(別室)

■ 共用部 (エレベーター、廊下等)

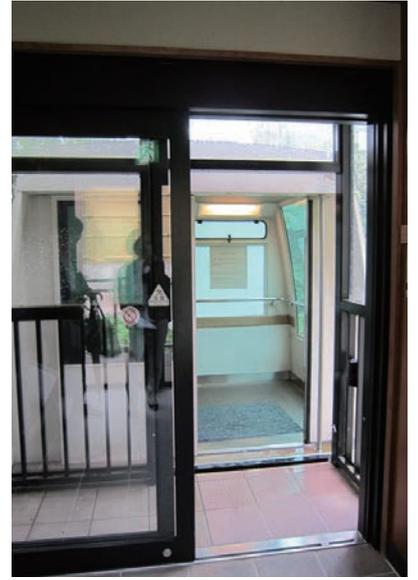


客室フロアの廊下

エレベーター内部
(客室棟)
利用客の声をうけて、手すり及び鏡を後から取り付けている。



6人乗兼車椅子用斜行エレベーター(スロープカー) (温泉棟)



■ 共用部 (温泉棟:女湯・脱衣所)



パウダーコーナー



脱衣所に設けられたおむつ交換台



脱衣所に設けられた共用便所
縦手すり及び跳ね上げの手すりが設けられている。

■ 共用部 (温泉棟:女湯・大浴場)



浴室の出入口

浴室と脱衣室の出入口前後に高低差はなく、手すりが設けられている。



シャワーブース

一般のシャワーブースより広いブースが、浴室出入口の近くに設けられている。シャワーバーのあるハンドシャワーは、高さ調整が可能となっている。写真右側のブースには、L型手すりが設けられている。

■ 貸し出し備品



木製車椅子 (1台)

木製車椅子以外に、通常車椅子 (2台) の貸出しも行っている。



手すりが設けられた浴槽

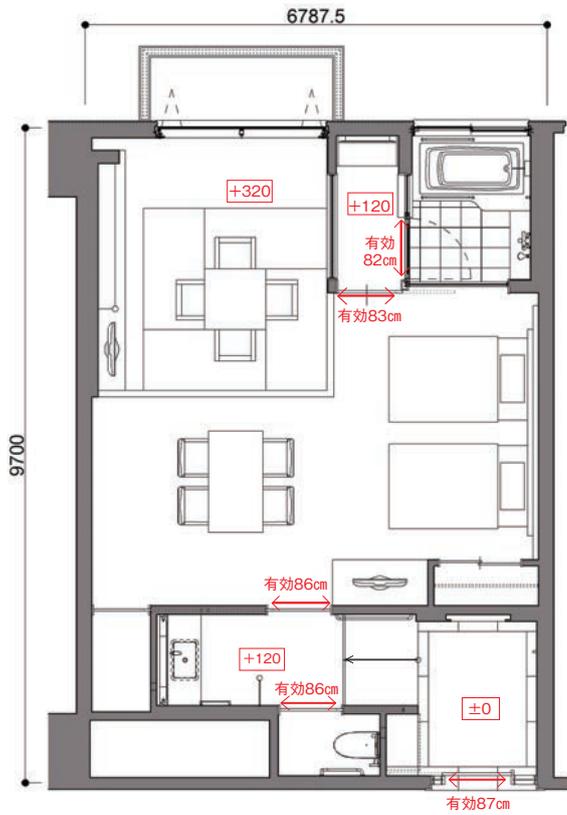


シャワーチェア (2台)

シャワーチェアは大浴場での利用のほかに、客室への貸出しも行っている。

- 複数回に分けた改修による、大浴場等の共用空間のバリアフリー対応
- ビューバスや露天風呂が設けられた、2種類の和洋室のユニバーサルスタイルの客室(2室)

■ ビューバス付き和洋室 ユニバーサルスタイル
(車椅子使用者用客室 65㎡)



2007年に改修により設けられた。



客室内部

ベッド(2台)、ダイニングテーブル、畳間(洋室の床+20cm)が設けられている。



客室出入口

ユニバーサルスタイルの客室の出入口は、引き戸となっている。



玄関傾斜路(客室内部)

横手すりが片側に設けられている。



トイレ

出入口の前後に高低差はない。L型手すりが設けられている。



浴室

浴室の出入口の前後に高低差はない。移乗台、横手すり(2か所)及び縦手すりが設けられている。



洗面所



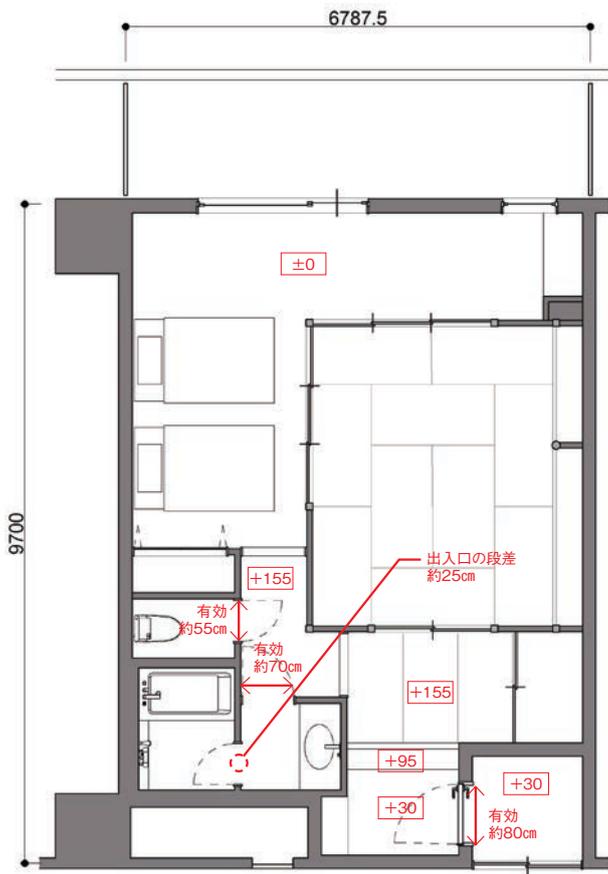
横手すり

シャワー

シャワーバーのあるハンドシャワーは、高さ調整が可能となっている。

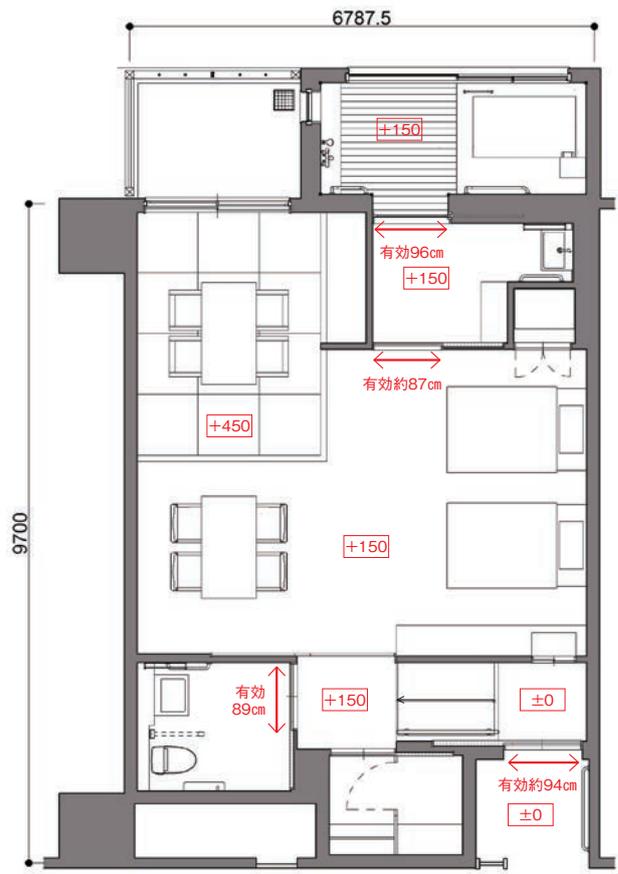


■ ひのき風呂付き和洋室 ユニバーサルスタイル(車椅子使用者用客室 84㎡)



改修前

※改修前の有効幅は枠間幅から5cm引いた値を参考として示している。



改修後

2005年に改修によって設けられた。



客室内部

ベッド(2台)、ダイニングテーブル、畳間(洋室の床+30cm)が設けられている。



トイレ・洗面室

出入口の前後に高低差はない。トイレには、縦手すり及び跳ね上げ手すり、洗面台の横には横手すりが設けられている。



玄関傾斜路(客室内部)

横手すりが片側に設けられている。



ひのき風呂付き和洋室

同タイプ

ユニバーサルスタイル 前室出入口 一般客室 前室出入口

前室出入口の幅を確保するために、ユニバーサルスタイルの客室には、一般客室にある格子戸が設けられていない。



浴室

浴室の出入口前後に高低差はない。洗い場には、L型手すりが設けられている。ハンドシャワーは、シャワーバーがあり、高さ調整が可能となっている。

